

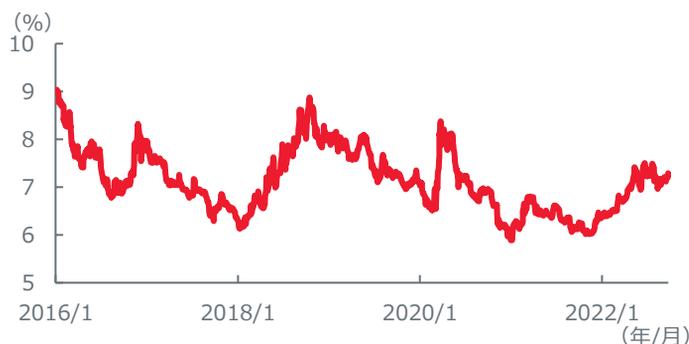
(対象期間：2022/9/19～2022/9/23)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移  
(2016年1月4日～2022年9月23日)

## 【株式市場】

週初は、銀行株などの大型銘柄に買いが見られ株式市場は上昇しました。21日は米連邦公開市場委員会（FOMC）を前に様子見姿勢が強まり、上値の重い展開となりました。22日はFOMCでのタカ派姿勢を受けてアジア市場全般が弱含みとなったにも関わらず、商品株の上昇などを背景にインドネシア株式市場は上昇しました。同日、BIは政策金利を市場予想の0.25%を上回る0.5%引き上げましたが、株式市場は堅調を維持しました。23日は商品株や不動産株などに利益確定売りが見られ下落しました。インドネシア株式市場は前週末比上昇しました。

2022/9/16	2022/9/23	変化率
7,168.87	7,178.58	+0.14%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2022年9月23日)

## 【債券市場】

週初は米国やインドネシアの金融政策決定会合を前に様子見姿勢が強まりました。20日に行われたイスラム国債の入札は低調となりましたが、債券利回りはやや低下（価格は上昇）しました。21日はFOMCへの警戒感から上値の重い展開となり、外国人投資家の売りを背景に長期債の利回りが上昇しました。22日はBIが物価抑制とルピアの安定を目指して市場予想を上回る0.5%の利上げを実施し、利回りは上昇しました。23日も外国人投資家の資金流出などを背景に利回りは上昇しました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

2022/9/16	2022/9/23	変化幅
7.215	7.289	+0.074

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2022年9月23日)

## 【為替市場】

ルピアはFOMCへの警戒感などを背景に週初から弱含みとなり、20日には対米ドルで心理的節目である15,000ルピアを上回りました。22日、FOMCでのタカ派姿勢を受けて世界的に米ドル高が進行し、ルピアも下落しました。同日行われたBIの金融政策決定会合で、通貨ルピアの安定を目指し、市場予想を上回る0.5%の利上げを実施しました。予想を上回る利上げ幅にもかかわらず、週末にかけてルピアは対米ドルで続落しました。ルピアは前週末比で対米ドル、対円ともに下落しました。

2022/9/16	2022/9/23	変化率
0.9577	0.9520	-0.60%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国プルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&amp;G社の子会社であるプルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。